

元気いっぱい加古川 初夏の一斉点検

目的：河川のより良い環境を保つためには、上下流全体で取り組む必要があります。つまり地域間の連携・行政間においても連携を図ることが大切と考えます。今回は、「一斉点検」としてゴミ清掃などを通じ、その活動を下流から上流へ展開することにより、流域全体で川を考える機運や連携の絆を高めたいと考えています。

加古川の山から海へ、加古川の初夏を楽しみながら、

河川敷を散策しながらゴミ拾い、特に生活ゴミを中心に。

加古川の流水にふれ、みんなで楽しく簡易水質試験
今後の河川管理指標（案）の内容も合わせて実施。

（水生生物調査、ケメット DO、パックテスト COD、アンモニウム、pH、リン酸、川に入った感想・アンケート調査）
水生生物調査、ケメット DO は特に子供たちに人気がある。
水生生物調査の適地は河川敷緑地米田地区（右岸、国道2号加古川橋下流400m地点）、低水位以下では右岸、同橋上流200mもよい。池尻橋直上流、右岸もよい。

びっくりさがし

みんなの知らない、驚きの情報を収集報告

世話役会・・・主要事項を決定、地域住民と行政が連携して運営
（3月中にメンバーを決定）

地域住民はリパークリーン エコ炭銀行 播本代表等、4団体程度。
行政は国土交通省、東播磨県民局、加古川市や西脇市などで調整中。

参加団体・・・4～5月末までに広く募集を行います。（登録制）

6月1日～14日で一斉点検を実施。参加者、参加団体に決める統一様式で結果を報告してもらい、世話役でまとめる。（活動を下流から上流へ向けてリレー形式で繋ぐ）

川の日「7月7日」に参加者が集い、リレー方式で発表してもらう。

